

### (3)「サンビーチおきみ」



施設としては新しく、ロケーションも良い施設です

#### 《展望》

瀬戸内海の美しい自然に囲まれた入鹿海水浴場に面して建つ「サンビーチおきみ」は、定員50名(客室13部屋)と小振りな施設ながら、オーシャンビューの客室と最上階の展望浴場から眺める瀬戸内海の景観や夕陽の情景が素晴らしく、スポーツクラブ系や研修団体などの貸切利用にも対応できる“別館”的な運営が可能です。

平成18年度までの利用者数は横ばいとなっていますが、販売方針の確立によって需要の掘り起こしは十分に可能であり、市民財産の有効活用が図れると思われれます。

#### 《問題点》

- ・ 江田島市の海の玄関口である中町港から離れた立地にありますが、公共交通手段がないため利用者の送迎が必要となります。(広島市方面から自家用車利用の場合は三高港から10分ほど)
- ・ 海水浴シーズン以外の周辺観光資源が乏しく、「シーサイド温泉のうみ」との連携による販売展開が図りにくい状況です。
- ・ 収容人員が少ないことから人数の多いスポーツ関連団体、学校団体(修学旅行他)の受入れが難しい施設です。

#### 《役割》

- ・ 江田島市の観光拠点である「能美海上ロッジ」の“別館”としての機能を持

たせ、休前日や宿泊利用者の多い夏期シーズンの営業に特化し、コスト縮減による運営効率の向上を実現することができれば、以下の役割を担うことができると思われます。

- ① 「能美海上ロッジ」が満室などの理由により、受入れができない場合の紹介施設として機能する。
- ② 海水浴シーズンの海浜施設として積極的に活用し、利用者の利便性の向上に寄与する。
- ③ 施設及びその周辺の維持管理を通じて入鹿海水浴場の環境美化活動の拠点として機能する。
- ④ 地元雇用、業者仕入れによる地域経済の活性化に寄与する。
- ⑤ 「江田島市やすらぎ交流農園」の活用により、施設利用者と地元住民と交流施設としての機能も期待できます。



## 2 3施設の運営モデル案について

### (1) 基本的な運営方針

「能美海上ロッジ」「シーサイド温泉のうみ」及び「サンビーチおきみ」の運営に関しては、各施設の特徴を生かした集客と施設の活用を図り、市民財産の効率的な運営を図ることで、市民の施設として今まで以上の活躍が期待できると思われまます。

